

子どもの歯磨き中の喉突き事故に 気をつけましょう

むし歯予防のため、歯磨きは大切な生活習慣ですが、歯ブラシによる喉突きによりお口の中を損傷し、入院を要する事故が発生してしまう恐れがあります。事故防止のために、特に事故が多い1歳～3歳頃の子どもの自分で歯磨きする時は、次のことに気をつけましょう。



子どもを事故から守るためのポイント

1 保護者の見守りの中で、床に座って歯磨きをしましょう

※座っている方が転倒時の受傷リスクを低減できます。

2 子ども用は喉突き防止対策を施した歯ブラシを使い 仕上げ磨きで使用する歯ブラシと使い分けましょう

※子ども自身の歯磨きは習慣付けとして大切ですが清掃効果は不十分です。

3 歯磨きを行う場所、生活環境を見直しましょう

※ソファからの転落、布団などでのつまづきに注意を！

